



あなたの健診結果には、 「医師の治療の必要がある」 項目がありました。

健診受診日
2014年07月
作成日
2015年02月

監修 / 京都大学大学院
医学系研究科 教授
中山 健夫

あなたは、
⊖マークの
生活習慣病の
可能性が
ありそうです。

糖尿病

高血圧症

脂質異常症



検査結果から
可能性のある疾患に
⊖マークを付けています。

生活習慣病は放置すると重篤な状態を引き起こし、生活や仕事にも支障が出てしまいます。
生活習慣病は多くの場合、**自覚症状がありません**。しかし、放置していると、慢性的な合併症や
全身の動脈硬化症が促進され、これが心筋梗塞や脳梗塞の原因になります。

今のあなたは、⊖のステージに
該当する可能性があります。
早めに医療機関を受診しましょう!!



このまま放置せず、
早く医師による治療を
受ける必要が
ある状態

このまま放置すると、
近いうちに心筋梗塞など
重篤な病気が
起こり得る状態

6

- 透析
- 心筋梗塞
- 脳梗塞

5

- 腎不全
- 高血圧症
- 糖尿病
- 動脈硬化症

リスクが高く、
医師の診察を受ける
必要がある状態

4

- 高血圧境界域
- 耐糖能異常

リスクが
重なり始めた状態

3

リスクが
出始めた状態

2

リスクが
ほとんどない状態

1

※リスクとは、糖尿病などの生活習慣病と診断される検査項目の数値が悪くなっている状態のことを言います。

この用紙の値を入れるだけで... あなたの隠れたリスク、わかります!

wellcan

検索

wellcanは100万人分の健康データであなたのこれからを徹底解析!



ウラ面をご覧ください▶

当健康保険組合では、被保険者、被扶養者に向けて健診制度を設けており、本年度につきましても既にご案内の通りです。今般、この健診について健診後のフォローアップに着手することとし、まずは健診で糖尿病・高血圧症・脂質異常症リスクのある方に情報提供を行います。現在も医療機関未受診の場合は、この機会に受診をご検討ください。4

1 000001#

健康保険組合

〒

健康保険組合

〒

1 000001#

対象期間：2014年07月～2014年09月

対象者：血糖や血圧、脂質検査で、基準値（疾患の診断基準を元にしています）以上に達し、健診受診後に通院履歴が確認されなかった方へ通知しています。

・分析期間（タイムラグ）の関係で、既に医療機関を受診している方にも送付される可能性があります。予めご了承の程お願い致します。1
・既に他の疾患で医療機関を受診している方は、血糖や血圧、脂質の検査を定期的に測り症状の悪化予防をお勧めいたします。2



あなたの健診結果をもう一度確認しましょう。 [あなたの最近の健診結果]

	空腹時血糖値	HbA1c	最高血圧	最低血圧	中性脂肪	HDL コレステロール	LDL コレステロール
数値が受診勧奨値を超えています。 医師の診察を受ける必要があります。	87 mg/dl	5.6 %	170 mmHg	110 mmHg	46 mg/dl	80 mg/dl	109 mg/dl
リスクが高い			あなた	あなた			
組合などの 受診勧奨基準	126以上	6.5以上	140以上	90以上	300以上	35未満	140以上
	あなた	あなた			あなた	あなた	あなた
リスクが低い							
学会などの 受診勧奨基準	126以上	6.5以上	140以上	90以上	300以上	35未満	140以上

※病院受診勧奨基準とは、糖尿病学会・動脈硬化学会・高血圧症学会の現時点での診断基準に基づいています。学会での動向に応じ、変更されることがあります。

**あなたの検査結果は、すぐにでも医療機関を受診して治療を受ける必要のあるものがあります。
まだ医療機関を受診されていない場合は、すぐに内科専門医を受診してください。**



TOPICS ほったらかしの リスク

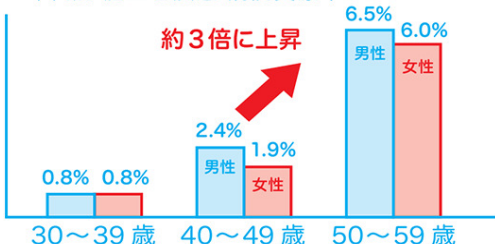
高血圧症患者は要注意

～高血圧が引き起こす脳血管疾患の恐怖～

50代から上昇するリスク。

脳梗塞をはじめとする脳血管疾患患者の病院受療率は、50代になると大きく上昇して40代の約3倍になることがわかります。

■年代別 脳血管疾患 病院受療率



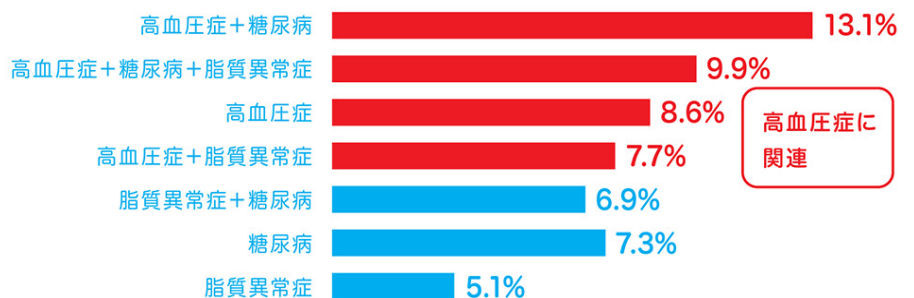
●分析対象者（健保加入者）を100%とした場合の、脳血管疾患患者の割合を男女別・年代別に比較 ●分析対象：30～59歳の男女 85,601人のレセプトデータ（診療報酬明細書） ●分析期間：2009年3月～2010年2月

生活習慣病の併病によるリスク増加。

50歳以上で3大生活習慣病（糖尿病・高血圧症・脂質異常症）で病院を受診した人のうち、病気の組み合わせパターンごとに脳血管疾患の発症率を解析したところ、「高血圧症」に罹患している人の発症率が高いことがわかりました。

また、「糖尿病」や「脂質異常症」との組み合わせにより発症率が上がる傾向が読み取れます。

■50歳以上の生活習慣病患者 病気パターン別 脳血管疾患発症率



高血圧症に
関連

●3大生活習慣病のいずれかの疾患に罹っている人に対する、脳血管疾患患者数の割合

●分析対象：50歳以上の生活習慣病患者 8,427人の人のレセプトデータ（診療報酬明細書）

●分析期間：2009年3月～2010年2月 ●観察期間：2009年3月～2010年2月 データ出典／(株)日本医療データセンター



あなたの健診結果には、 「医師の治療の必要がある」 項目がありました。

健診受診日
2014年07月
作成日
2015年02月
監修 / 京都大学大学院
医学系研究科 教授
中山 健夫

あなたは、
⊖マークの
生活習慣病の
可能性があります。

糖尿病

高血圧症

脂質異常症



検査結果から
可能性のある疾患に
⊖マークを付けています。

生活習慣病は放置すると重篤な状態を引き起こし、生活や仕事にも支障が出てしまいます。
生活習慣病は多くの場合、**自覚症状がありません**。しかし、放置していると、慢性的な合併症や
全身の動脈硬化症が促進され、これが心筋梗塞や脳梗塞の原因になります。

今のあなたは、⊖のステージに
該当する可能性があります。
早めに医療機関を受診しましょう!!



このまま放置せず、
早く医師による治療を
受ける必要が
ある状態

このまま放置すると、
近いうちに心筋梗塞など
重篤な病気が
起こり得る状態

リスクが
ほとんどない状態

リスクが
出始めた状態

リスクが
重なり始めた状態

リスクが高く、
医師の診察を受ける
必要がある状態

5

- 腎不全
- 高血圧症
- 糖尿病
- 動脈硬化症

6

- 透析
- 心筋梗塞
- 脳梗塞

※リスクとは、糖尿病などの生活習慣病と診断される検査項目の数値が悪くなっている状態のことを言います。

この用紙の値を入れるだけで... あなたの隠れたリスク、わかります!

wellcan

検索

wellcanは100万人分の健康データであなたのこれからを徹底解析!



ウラ面をご覧ください▶

当健康保険組合では、被保険者、被扶養者に向けて健診制度を設けており、本年度につきましても既にご案内の通りです。今般、この健診について健診後のフォローアップに着手することとし、まずは健診で糖尿病・高血圧症・脂質異常症リスクのある方に情報提供を行います。現在も医療機関未受診の場合は、この機会に受診をご検討ください。4

1 000002#

健康保険組合

〒
健康保険組合

健康保険組合

〒
健康保険組合

1 000002#

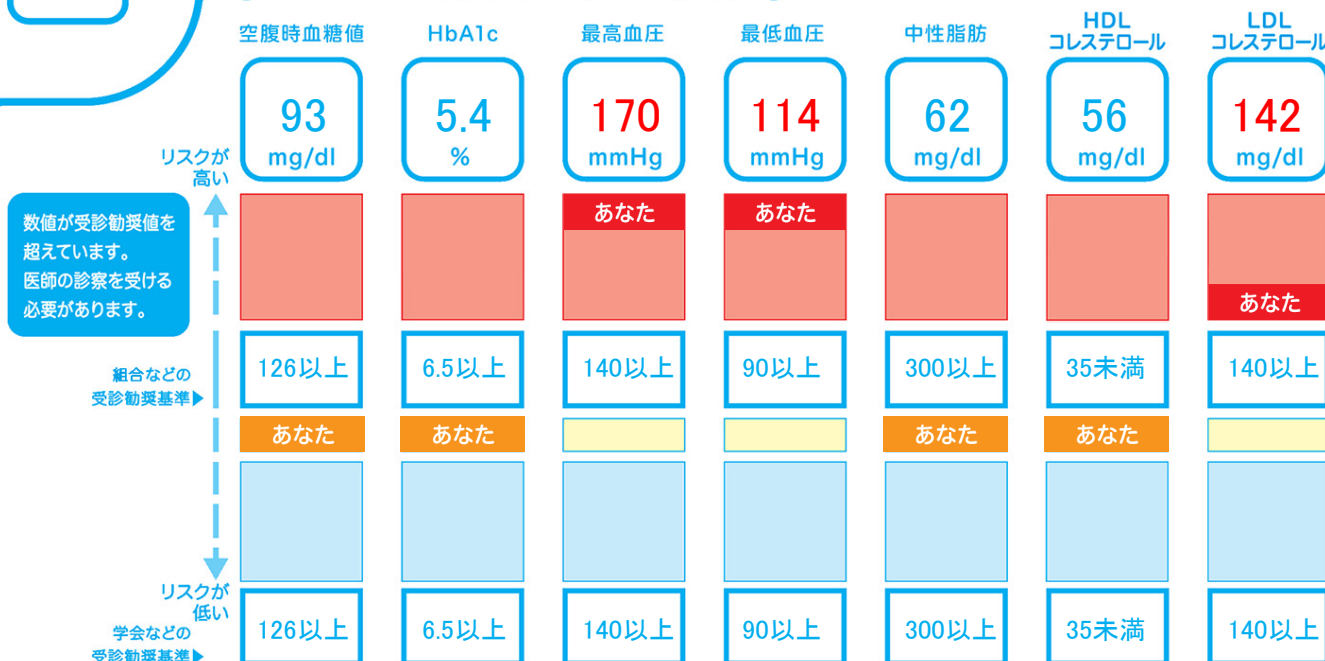
対象期間：2014年07月～2014年09月

対象者：血糖や血圧、脂質検査で、基準値（疾患の診断基準を元にしています）以上に達し、健診受診後に通院履歴が確認されなかった方へ通知しています。

・分析期間（タイムラグ）の関係で、既に医療機関を受診している方にも送付される可能性があります。予めご了承の程お願い致します。1
・既に他の疾患で医療機関を受診している方は、血糖や血圧、脂質の検査を定期的に測り症状の悪化予防をお勧めいたします。2



あなたの健診結果をもう一度確認しましょう。 [あなたの最近の健診結果]



※病院受診勧奨基準とは、糖尿病学会・動脈硬化学会・高血圧症学会の現時点での診断基準に基づいています。学会での動向に応じ、変更されることがあります。

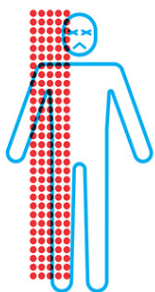
**あなたの検査結果は、すぐにでも医療機関を受診して治療を受ける必要のあるものがあります。
まだ医療機関を受診されていない場合は、すぐに内科専門医を受診してください。**



TOPICS
ほったらかしの
リスク

糖尿病の慢性合併症と治療費

～ほったらかし(放置)から始まる病気の連鎖とは？～



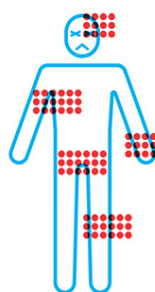
突然倒れる?!

脳卒中を起こすと、突然倒れて意識なくなったり、半身の麻痺・ろれつが回らないなどの症状を起こします。運よく命を落とさなくても、障害残ったり…生活への支障も計り知れません。



手・足を切断?!

神経障害が進むと感覚が鈍くなるため、けがややけどをしても、放置されやすくなります。血糖コントロール不良による神経麻痺は、四肢切断という最悪の事態になりかねません。



ストレスで病気進行も加速

糖尿病を罹患する世代は、社会では働き盛り、家庭では大黒柱という過度のストレスを受けやすい年代。ストレスによる症状の重症化、心の問題は、さらに社会生活を難しくさせてしまいます。

頭：脳卒中
200万円/年

お腹：透析
(腎不全)
600万円/年

四肢切断
360万円/年

合併症が無い
糖尿病の治療費
34万円/年

合併症の連鎖によって、通院費用も増加していきます。
合併症がない状態と比較して
年間30～600万円の違いになります。

データ出典／(株)日本医療データセンター